

# 在宅医療廃棄物の処理に関するアンケート調査結果

## . 目的

在宅医療廃棄物の処理については、環境省において、平成 16 年度に「在宅医療廃棄物の処理の在り方検討会」の報告書<sup>( )</sup>を取りまとめた。これを踏まえ、平成 17 年 9 月、都道府県を通じ、市町村等に対し在宅医療廃棄物の適正処理について指導する等の通知「在宅医療に伴い家庭から排出される廃棄物の適正処理について」（以下「平成 17 年通知」という。）を行った。当該通知においては、在宅医療廃棄物の処理に当たって、市町村は関係者と連携を図りつつ、当該報告書を参考に地域の状況に応じた処理方法を検討し、一般廃棄物処理計画の中に位置づける等の所要の手続きを取るよう求めている。

本調査は、平成 17 年通知発出後の市町村等の在宅医療廃棄物の処理状況や課題等について調査し、今後の在宅医療廃棄物の適正な処理の推進方策検討の基礎資料とすることを目的として実施した。

## 報告書の概要

検討会の提言として、在宅医療廃棄物の処理の在り方について、今後も引き続き検討することが必要であるとしつつ、現段階で最も望ましい方法として、注射針等の鋭利な物は医療関係者あるいは患者・家族が医療機関へ持ち込み、感染性廃棄物として処理する、その他の非鋭利な物は、市町村が一般廃棄物として処理するという方法が考えられる、としている。

## . 調査方法等

### ( 1 ) 調査対象

全国の市町村 ( 1,803 ) 及び事務組合 ( 378 )

### ( 2 ) 調査方法

平成 19 年 2 月 1 日、市町村等に対するアンケート調査票の配布及び回収を都道府県に依頼し、集計した。( 回収率 99.7% )

## . アンケートの回収状況について

アンケートの回収状況は以下のとおりであり、回収率は 99.7%であった。

分類	調査対象数	回収数	回収率
市町村	1,803	1,798	99.7%
事務組合	378	376	99.5%
合計	2,181	2,174	99.7%

アンケート調査の結果について

本調査結果は、アンケートの回答に基づき整理し、取りまとめたものである。

1. 在宅医療廃棄物処理の実態等について

(1) 平成17年通知への対応状況

回答状況

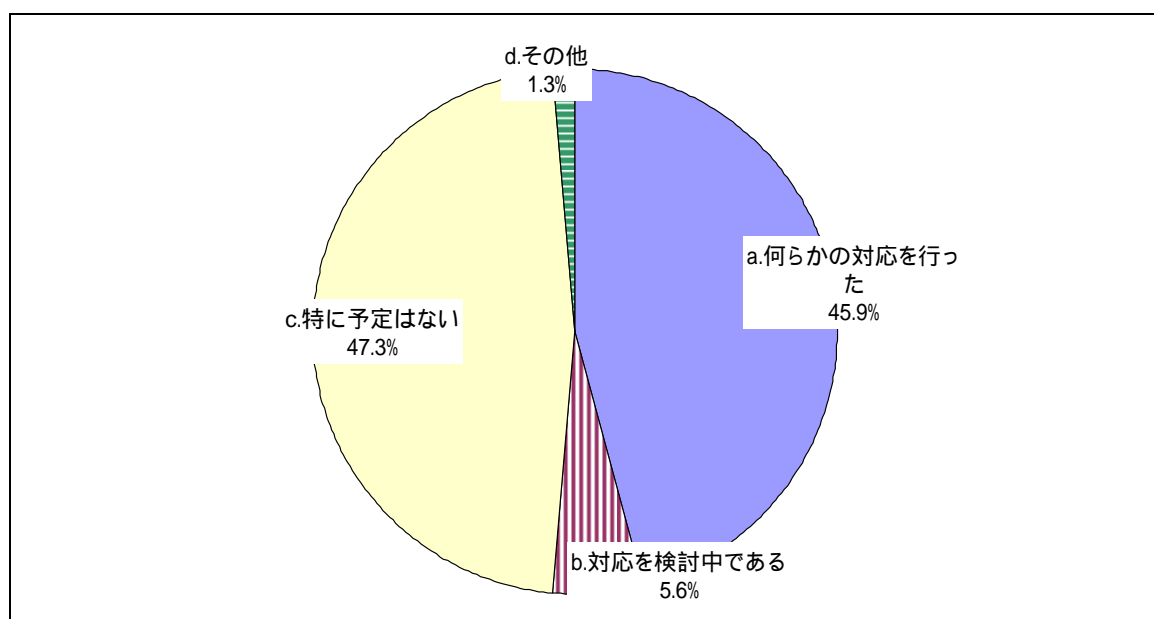
	回答数	無回答数	合計
市町村	1,781	17	1,798

集計結果

平成17年通知に対して、どのような対応をしているか聞いたところ、「何らかの対応を行った」との市町村が45.9%、「対応を検討中である」との市町村が5.6%であり、併せて51.5%の市町村が何らかの対応を行った、又は検討中であるとの結果であった。

回答内容	回答数	割合
a.何らかの対応を行った	817	45.9%
通知以前から既に対応していた <sup>注)</sup>	(87)	(4.9%)
b.対応を検討中である	99	5.6%
c.特に予定はない	842	47.3%
d.その他	23	1.3%
合計	1,781	100%

注) 自由記入欄から平成17年通知以前から対応していたことが判断できるものを整理した。



### 具体的な対応状況

具体的な対応状況については、「注射針以外の在宅医療廃棄物をすべて回収することとしている」との市町村が 25.2%、「医療関係者との協議を行った」との市町村が 21.8%であった。

対応状況	件数	割合 <sup>注2)</sup>
( )医療関係者との協議を行った	388	21.8%
( )すべての在宅医療廃棄物を回収	93	5.2%
( )注射針以外の在宅医療廃棄物をすべて回収	448	25.2%
( )処理計画で位置付け	90	5.1%
上記( )~( )のいずれの対応も行っていない	964	54.1%
対応を検討中	(99)	(5.6%)

注1) 複数の対応を行っている市町村があるため、の合計と本表の合計は同一とはならない。

注2) 「割合」は、回答市町村数(1,781)に対する割合

### (2) 在宅医療廃棄物の処理に関する方針

一般廃棄物処理計画等において、どの在宅医療廃棄物を回収することとしているのか聞いたところ、すべての在宅医療廃棄物を回収するとの市町村が 5.3%、注射針以外の在宅医療廃棄物を回収するとの市町村が 25.7%であり、併せて約3割(31.0%)の市町村が平成 17 年通知で示した最も望ましい方法に従って回収しているとの結果であった。一方、脱脂綿・ガーゼも含めて、全く回収しない(又は方針は未定)との市町村は約5割(51.5% + )であった。

また、市町村の人口規模別では、規模の大きい市町村の方が、在宅医療廃棄物の回収が進んでいる傾向が見られた(参考1)。

### 回答状況

	回答数	無回答数	合計
市町村	1,764	34	1,798

注1) 同一市町村内で区域によって対応が異なる場合は、それぞれ別回答として取り扱った上で集計している。

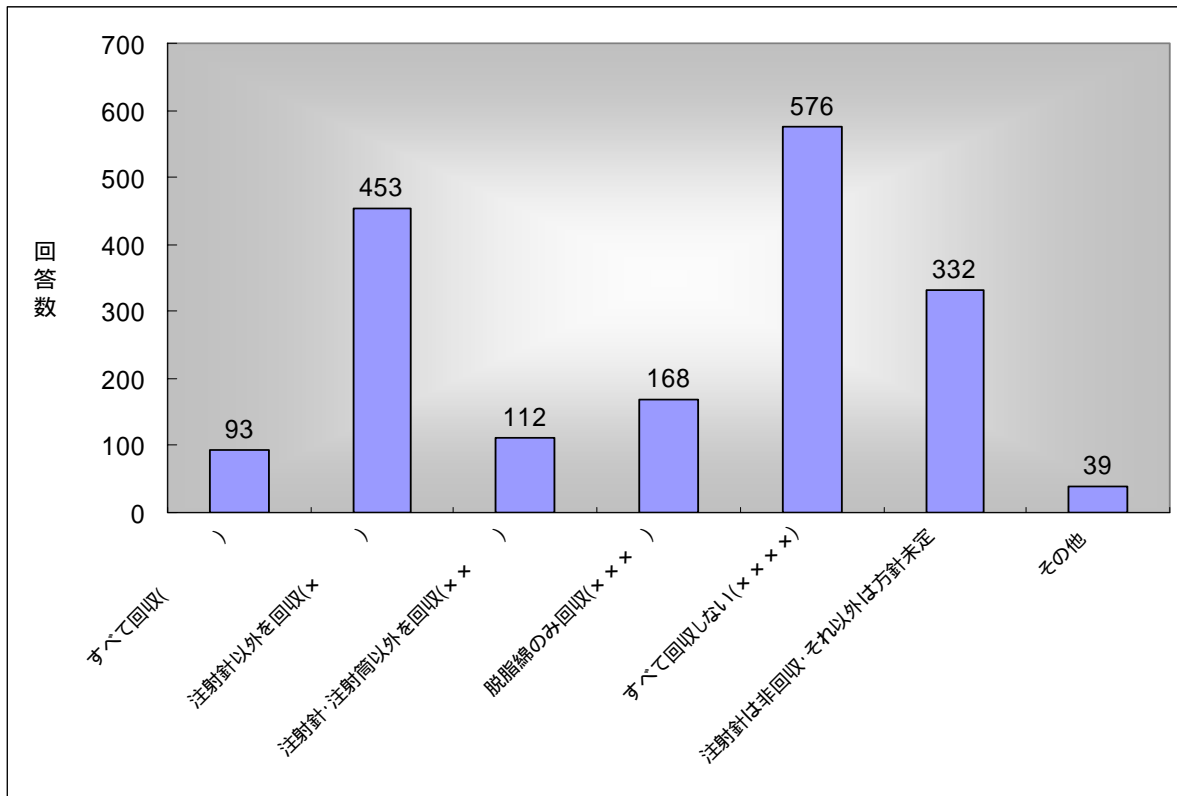
### 集計結果( は回収する。×は回収しない。)

	注射針	注射筒	バッグ類、チューブ類	脱脂綿・ガーゼ	回答数	割合 <sup>注2)</sup>
					93	5.3%
	×				453	25.7%
との合計 <sup>注3)</sup>					(546)	(31.0%)
	×	×			112	6.3%
	×	×	×		168	9.5%
	×	×	×	×	576	32.7%
	×	方針は未定			332	18.8%
との合計 <sup>注3)</sup>					(908)	(51.5%)
上記 ~ 以外					39	2.2%

注1) 収集を行わず、施設への直接搬入の場合のみ処分する等については、×として集計した。

注2) 「割合」は、回答数(1,764)に対する割合

注3) 同一市町村による重複回答はない。



【参考1：市町村の人口規模別の処理方針】

	注射針	注射筒	バッグ類、チューブ類	脱脂綿・ガーゼ	政令市、中核市、特別区		その他の市		町村		合計	
					回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
					10	13.7%	39	5.4%	44	4.5%	93	5.3%
	×				30	41.1%	203	28.2%	220	22.7%	453	25.7%
との合計【再掲】					(40)	(54.8%)	(242)	(33.6%)	(264)	(27.2%)	(546)	(31.0%)
	×	×			6	8.2%	60	8.3%	46	4.7%	112	6.3%
	×	×	×		10	13.7%	67	9.3%	91	9.4%	168	9.5%
	×	×	×	×	14	19.2%	222	30.8%	340	35.0%	576	32.7%
	×	方針は未定			1	1.4%	110	15.3%	221	22.8%	332	18.8%
との合計【再掲】					(15)	(20.5%)	(332)	(46.1%)	(561)	(57.8%)	(908)	(51.2%)
上記 ~ 以外					3	4.1%	24	3.3%	12	1.2%	39	2.2%

注)「割合」は、回答数(それぞれ73、720、971、1,764)に対する割合

(3) 市町村が回収しないこととしている在宅医療廃棄物の処理状況

すべての在宅医療廃棄物を回収しないこととしている市町村において、在宅医療廃棄物がどのように処理されているか聞いたところ、52.7%の市町村が「医療関係者が処理している(協議・調整はしていない)」、19.9%の市町村が「医師会等と協議・調整の上、医療関係者(医療機関、薬局等)が処理している」と回答しており、併せて72.6%の市町村が、医療関係者が処理していると回答している。

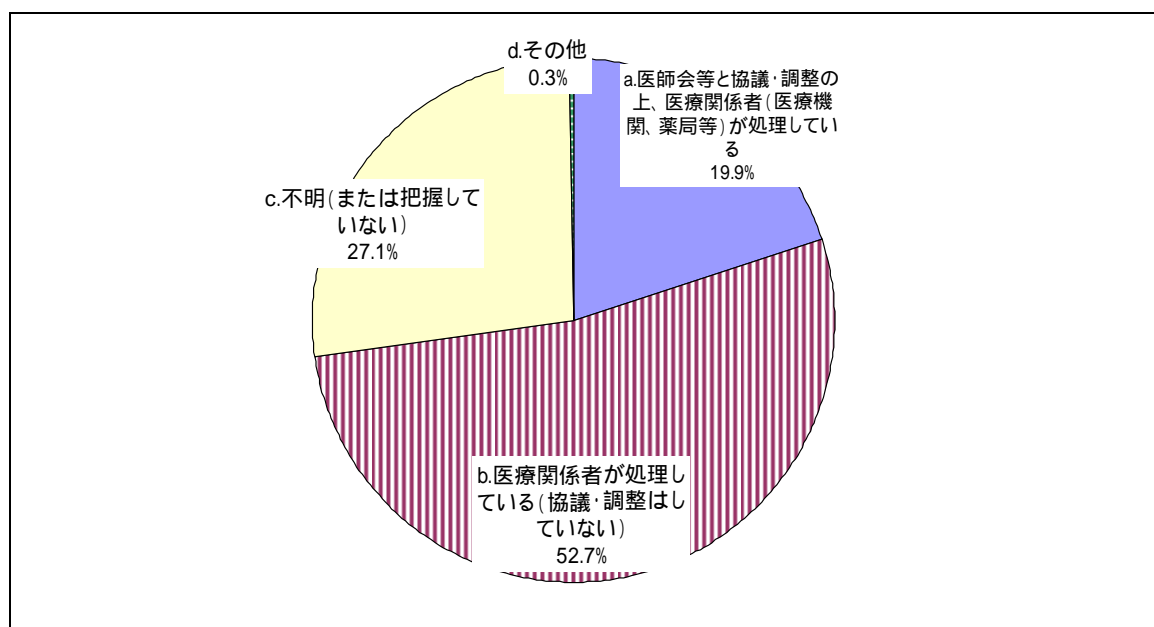
## 回答状況

	回答数	無回答数	対象外	合計
市町村	1,594	111	93	1,798

注)「対象外」とは、すべての在宅医療廃棄物を回収している市町村である。

## 集計結果

回答内容	回答数	割合
a.医師会等と協議・調整の上、医療関係者（医療機関、薬局等）が処理している	318	19.9%
b.医療関係者が処理している（協議・調整はしていない）	840	52.7%
c.不明（又は把握していない）	432	27.1%
d.その他	4	0.3%
合計	1,594	100%



## 2. 在宅医療廃棄物の処理に関する課題と取組等について

### (1) 一般廃棄物処理計画等に位置付ける際の課題について

在宅医療廃棄物の処理について一般廃棄物処理計画等に位置付ける上でどのような課題があるか聞いたところ、63.5%の市町村が「在宅医療廃棄物にはどのようなものがあり、どのような危険性を有しているのか等、在宅医療廃棄物に関する情報が不足している」と回答している。

なお、一般廃棄物処理計画に位置付けている市町村と位置付けていない市町村の回答状況には、大きな差はなかった。

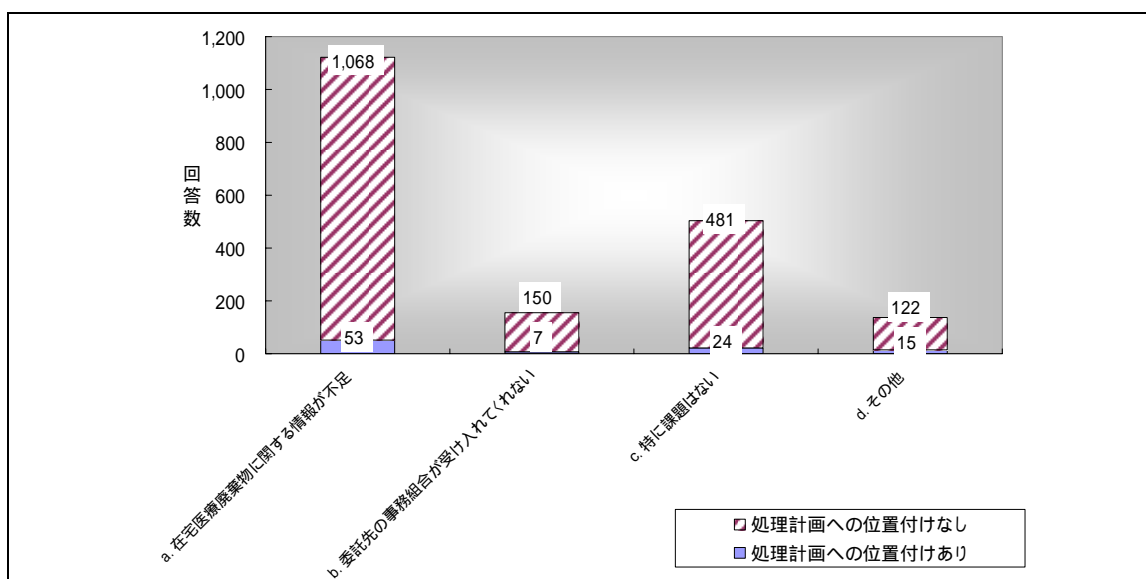
#### 回答状況

	回答数	無回答数	合計
市町村	1,766	32	1,798
処理計画に位置付けている市町村	90	0	90
処理計画に位置付けていない市町村	1,676	32	1,708

#### 集計結果（複数回答）

回答内容	処理計画に位置付けている市町村		処理計画に位置付けていない市町村		合計	
	回答数	割合 <sup>注)</sup>	回答数	割合 <sup>注)</sup>	回答数	割合 <sup>注)</sup>
a. 在宅医療廃棄物にはどのようなものがあり、どのような危険性を有しているのか等、在宅医療廃棄物に関する情報が不足している	53	58.9%	1,068	63.7%	1,121	63.5%
b. 処分を委託している事務組合が在宅医療廃棄物を受け入れてくれない	7	7.8%	150	8.9%	157	8.9%
c. 特に課題はない	24	26.7%	481	28.7%	505	28.6%
d. その他	15	16.7%	122	7.3%	137	7.8%

注)「割合」は、回答数（それぞれ、90、1,676、1,766）に対する割合



(2) 実際の処理に当たっての課題について

在宅医療廃棄物の実際の処理に当たって、どのような課題があるか聞いたところ、72.3%の市町村が「廃棄物の感染性等に関する情報不足のため危険性が分かりにくい」と回答しており、40.2%の市町村が「他の廃棄物に比べ、在宅医療廃棄物の回収に心理的抵抗がある」、32.7%の市町村が「患者のプライバシーに配慮が必要である」と回答している。

なお、何らかの在宅医療廃棄物を回収することとしている市町村と回収しないこととしている市町村の回答状況には、大きな差はなかった。

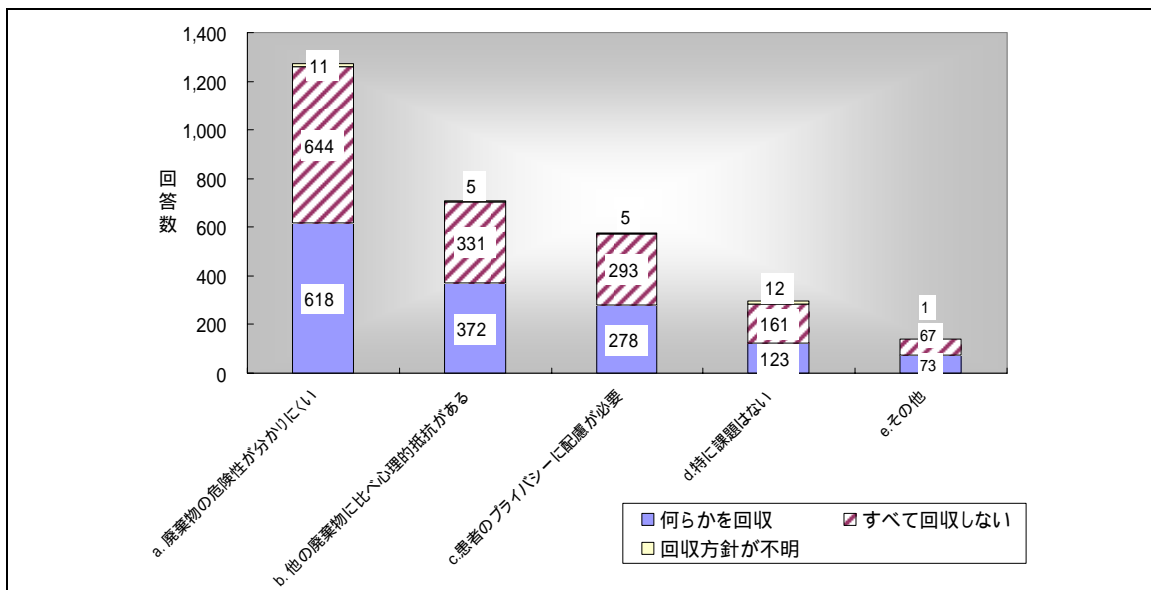
回答状況

	回答数	無回答数	合計
市町村	1,761	37	1,798
何らかの在宅医療廃棄物を回収することとしている市町村	851	8	859
在宅医療廃棄物を回収しないこととしている市町村	884	21	905
回収の方針が不明の市町村	26	8	34

集計結果（複数回答）

回答内容	何らかの在宅医療廃棄物を受け入れることとしている市町村		在宅医療廃棄物を受け入れないこととしている市町村		回収の方針が不明の市町村		合計	
	回答数	割合 <sup>注)</sup>	回答数	割合 <sup>注)</sup>	回答数	割合 <sup>注)</sup>	回答数	割合 <sup>注)</sup>
a. 廃棄物の感染性等に関する情報不足のため危険性が分かりにくい	618	72.6%	644	72.9%	11	42.3%	1,273	72.3%
b. 他の廃棄物に比べ、在宅医療廃棄物の回収に心理的抵抗がある	372	43.7%	331	37.4%	5	19.2%	708	40.2%
c. 患者のプライバシーに配慮が必要である	278	32.7%	293	33.1%	5	19.2%	576	32.7%
d. 特に課題はない	123	14.5%	161	18.2%	12	46.2%	296	16.8%
e. その他	73	8.6%	67	7.6%	1	3.8%	141	8.0%

注)「割合」は、回答数（それぞれ、851、884、26、1,761）に対する割合





(3) 在宅医療廃棄物の円滑な処理のための取り組み

在宅医療廃棄物の円滑な処理のために取り組んでいる事項等について聞いたところ、何らかの在宅医療廃棄物を回収することとしている837市町村のうち、617の市町村(73.7%)が「特に回収する際の工夫や取り組みを行っていない」と回答している。また、取り組み内容としては、「在宅医療廃棄物を回収する際に特別な工夫を行っている」との回答が11.2%と最も多かった。

回答状況

	回答数	無回答数	合計
市町村	837	22	859

集計結果(複数回答)

回答内容	回答数	割合
a.在宅医療廃棄物を回収する際に特別な工夫を行っている(マークを付けて他のゴミと区別して回収、容器に入れる等)	94	11.2%
b.貴市町村主導で、医療機関・薬局以外の在宅医療廃棄物の処理ルートを構築している	12	1.4%
c.医療関係者(医療機関、薬局等)、患者向けのマニュアルや手引き等を作成している	31	3.7%
d.学識経験者等による委員会の設置及び在宅医療廃棄物の処理に関する検討している	3	0.4%
e.在宅医療廃棄物の処理について、一般廃棄物処理計画に位置付けている	54	6.5%
f.特に回収する際の工夫や取り組みは行っていない	617	73.7%
g.その他	71	8.5%

注)「割合」は、回答数(837)に対する割合

(4) 在宅医療廃棄物の問題点・疑問点に関する相談・情報収集先

在宅医療廃棄物の処理に問題点、疑問点が生じた場合、どのような機関に対して相談や情報収集等を行っているか聞いたところ、「国、都道府県の環境部局」との回答が57.6%と最も多く、次いで「同一市町村内の保健部局」が40.5%、「近隣市町村の環境部局」が33.1%、「地域の医療機関」が31.5%との回答であった。

回答状況

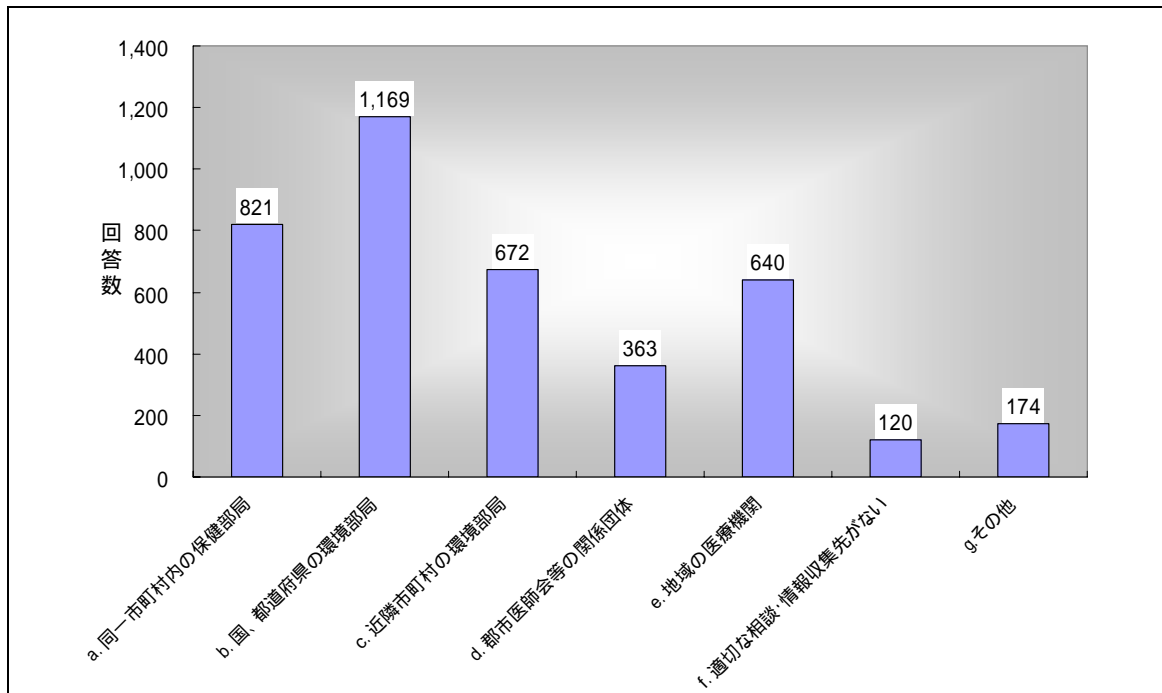
	回答数	無回答数	合計
市町村	1,764	34	1,798
事務組合	265	111	376
合計	2,029	145	2,174



集計結果（複数回答）

回答内容	回答数	割合
a.同一市町村内の保健部局	821	40.5%
b.国、都道府県の環境部局	1,169	57.6%
c.近隣市町村の環境部局	672	33.1%
d.郡市医師会、薬剤師会等の関係団体	363	17.9%
e.地域の医療機関	640	31.5%
f.在宅医療廃棄物に関する相談や情報収集先としてふさわしい機関がない	120	5.9%
g.その他	174	8.6%

注)「割合」は、回答数(2,029)に対する割合



(5) 在宅医療廃棄物等の処理時における事故の状況

在宅医療廃棄物等の処理時に事故が起こったことがあるか聞いたところ、1,737(85.0%)の市町村等が「事故が起こったことはない」と回答している。

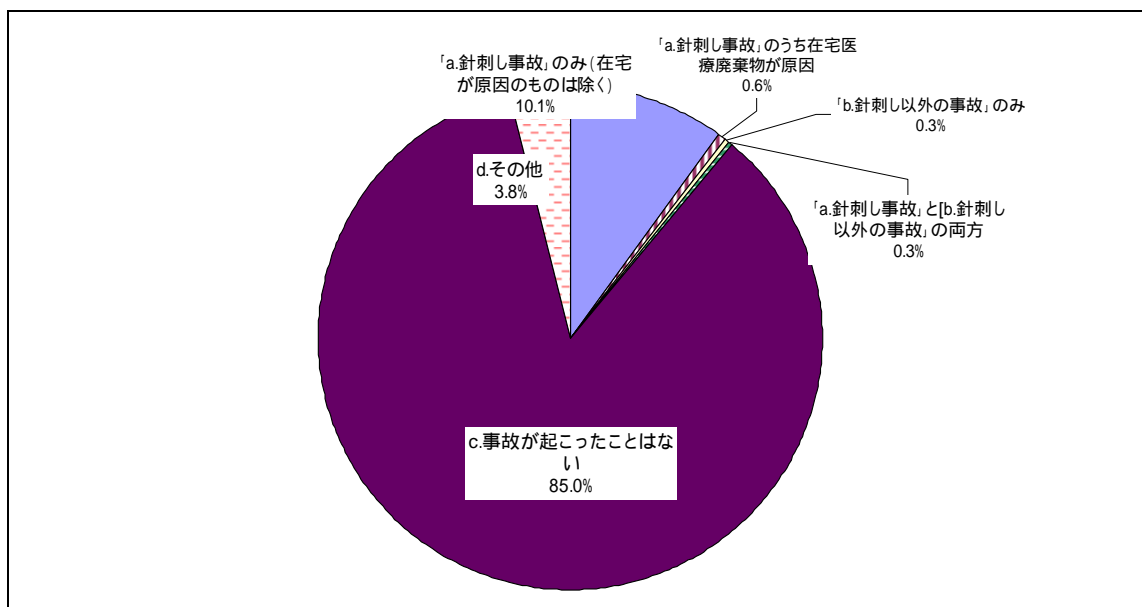
事故が起こったことがあると回答している230の市町村等のうち、224の市町村等が「針刺し事故が起こった」と回答しており、そのうち、在宅医療廃棄物が原因であると特定できるものは12件であった。

回答状況

	回答数	無回答数	合計
市町村	1,758	40	1,798
事務組合	287	89	376
合計	2,045	129	2,174

## 集計結果

回答内容	回答数	割合
事故が起こったことがある ( + + )	230	11.2%
「a.針刺し事故」が起こった	218	10.7%
-2 在宅医療廃棄物を原因とするもの	(12)	(0.6)%
「b.針刺し事故以外の負傷その他の事故」が起こった	6	0.3%
「a.針刺し事故」、「b.針刺し事故以外の負傷その他の事故」の両方が起こった	6	0.3%
-2 在宅医療廃棄物を原因とするもの	(0)	(0)%
c.事故が起こったことはない	1,737	85.0%
d.その他	78	3.8%
合計	2,045	100%



### (6) 在宅医療廃棄物の処理に関する課題・解決策(自由記入)

在宅医療廃棄物の処理に関する課題について聞いたところ、在宅医療廃棄物による事故の危険性を挙げる意見が最も多く(308件)次いで、情報収集(在宅医療廃棄物の種類や危険性の把握、区域内の排出状況等)(275件)患者への周知(患者のプライバシー)(235件)に関する回答があった。

### 3 . 在宅医療廃棄物の処理に関する意見、国への要望事項等について（自由記入）

在宅医療廃棄物の処理に関する国への要望事項等について聞いたところ、すべての在宅医療廃棄物を医療関係者で回収してほしいという要望が最も多く（257件）、次いで、在宅医療廃棄物の処理に関するマニュアル化やルール作り（185件）、国、都道府県等への情報提供に関する要望（125件）があった。

医療関係者による回収に関する意見については、注射針以外の在宅医療廃棄物も医療関係者で回収してほしいという意見が多く、義務化や法制化を要望する意見もあった。在宅医療廃棄物の処理に関するマニュアル化やルール作りについては、マニュアルで処理方法等を明確化して欲しいという意見や、市町村等以外で処理できる新たな仕組みを作してほしい等であった。国、都道府県等への情報提供に関しては、危険性（感染性）に関する情報とその判断基準、廃棄物の種類（性状・材質等）等に関する情報を要望するものであった。